

代表者名	門脇光浩	所管部課名	観光文化スポーツ部観光戦略課
所在地	仙北市田沢湖玉川字渋黒沢国有林	設立年月日	平成3年10月22日

【沿革及び県の出資理由】

県のリゾート構想に基づき、玉川重点整備地区に民間宿泊施設及び自然公園施設が整備される予定であったことから、地区内の県有基盤施設の維持管理や、給湯施設の整備等を目的に県等の出資により平成3年10月設立。

【出資者】（24年度当初）（千円、%）

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	5,000	50.0
市町村	1	1,000	10.0
その他	2	4,000	40.0
計	4	10,000	100.0

【事業】

①主たる業務

新玉川地区進出企業に対する玉川温泉供給施設の整備運営

②事業実績（人）

事業名等	21年度	22年度	23年度
ビジターセンター来場者数	19,421	17,730	12,514

③23年度事業概要及び24年度事業計画・目標

23年度事業概要
 ・給排水施設維持管理業務、ビジターセンター管理運営業務、基盤施設維持管理業務、基盤道路除雪業務
 24年度事業計画
 ・23年度と同様の業務を行う

【組織】

①役員数（H24.7.1現在）（人）

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	4	1
内、県退職者		
内、県職員	1	
計	5	1
内、県関係者	1	

②職員数（H24.4.1現在）（人）

正職員	平均年齢	正職員平均年収	正職員平均勤続年数
内、県退職者			
出向職員	3		
内、県職員			
臨時・嘱託			
内、県退職者			
計	3		
内、県関係者			

役員報酬支給対象者数	人
役員報酬支給対象者平均年齢	歳
平均役員報酬額	千円/年

【財務】

①損益状況（23年度）（千円）

	金額
経常収入	A 27,644
受託事業収入	27,574
補助金収入	
自主事業収入	
運用益収入	
その他	70
経常支出	B 27,414
人件費	5,115
その他	22,299
経常損益	C = A - B 230
経常外収入	
諸税	129
当期損益	101

②財務状況（23年度末）（千円、%）

	金額	構成比
流動資産	25,744	97.6
固定資産	640	2.4
資産計	26,384	100.0
流動負債	16,178	61.3
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
負債計	16,178	61.3
資本金	10,000	37.9
剰余金	206	0.8
純資産計	10,206	38.7
負債・純資産計	26,384	100.0

	金額
県の損失補償額	
県の債務保証額	

	金額	引当額	引当率
退職給与引当状況	0	0	%

【県の財政支出】

	21年度	22年度	23年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費	10,107	9,823	9,709	県有基盤施設の維持管理業務、基盤道路除雪業務、ビジターセンター管理業務
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	21年度	22年度	23年度	21-22増減	22-23増減
健全 発展 性	自己資本比率	%	54.01	45.21	38.68	△ 8.80	△ 6.53
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	188.56	168.57	159.13	△ 19.99	△ 9.44
	経常収入額	千円	27,336	27,518	27,644	182	126
収益 性	剰余金（△欠損金）	千円	92	106	206	14	100
	経常利益率	%	△ 1.10	0.40	0.83	1.50	0.43
	総資本利益率	%	△ 1.61	0.50	0.87	2.11	0.37
効 率 性	総資本回転率	%	1.46	1.23	1.05	△ 0.23	△ 0.18
	職員1人当たり経常収入	千円	9,112	9,173	9,215	61	42
	人件費比率	%	18.41	18.28	18.50	△ 0.13	0.22

2 経営目標の達成状況

経営目標			21年度	22年度	23年度	24年度
経営 改善 指標	県委託費（千円）	目標	10,135	9,791	9,737	9,657
		実績	10,107	9,823	9,709	
事業 成果 指標	ビジターセンター来場者一人あたり 管理経費（円/人）	目標	268	252	276	274
		実績	276	285	397	
事業 成果 指標	ビジターセンター来場者数（人）	目標	20,000	20,000	18,000	18,000
		実績	19,421	17,730	12,514	
事業 成果 指標	給水量（m ³ ）	目標	190,000	182,600	139,000	152,500
		実績	182,199	170,158	149,665	
顧客満足度指数	目標	79	76	76	76	
	実績	74	75	73		

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

・給排水維持管理業務は、年間を通じて雨の日が多く、その都度原水濁度異常高が発生し運転を停止したが、薬注量を調整し回復しており、一年間を通して断水することなく安全な飲料水の供給ができた。

・委託業務は、震災の影響により来湯者の減少が大きく響き、温泉利用客の立ち寄りが多くを占めるビジターセンター入館者数も予想入館者数に対して約7割となった。

・除雪業務は、昨年以上に降雪量が多かったため重機の稼働時間が予想以上に多くなったが、大きな故障や事故などのトラブルも無くシーズンを終えることができた。

＜顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組＞

・委託業務については、周辺施設へ新パンフレット配布、イベント関連の情報を流しながら協力をいただき、ビジターセンターの利用増加を目指す。

・職員による積極的なイベント取り組みと、お客様への会話を重視することで親しみやすく喜んでもらえる運営を目指す。

4 総合評価（計算書類等の資料及びヒアリングによる評価）

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<p>・当年度は企業負担金の単価値上げを実施したが、その他の営業収益が減少したこともあり、営業収益は全体としては微増にとどまり、営業収益及び利益水準の金額的増加には至っていない。</p> <p>・ここ数年約100千円の最終利益を計上し、無配の状況が続いているが、事業費の見直しに加えて、新たな収入源を模索するなど、収益性改善のための経営努力が肝要である。</p>	